

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 教員の個人研究費、図書費、研究専念時間を確保する。	→文部科学省科学研究費補助金、中央省庁などの外部資金獲得への申請件数、採択件数および獲得額。	B
2. TA、ゲストスピーカーを配置する。	→TA、ゲストスピーカーの人数。	B
3. 施設・設備検討委員会において講義室、パソコン教室といった教育研究等のための施設、設備の整備について検討する。	→各教室の利用頻度。	B
4. 資料室委員会において資料室の整備について検討する。	→資料室ののべ利用人数。	B
5. 実践教育支援室運営委員会において実践教育支援室などの教育研究等を支援する施設、教育研究支援体制の整備について検討する。	→実践教育支援室ののべ利用人数。	B
6. 研究倫理委員会を設置を検討する	→研究倫理委員会設置の要綱等。	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目9.0.4	(方針) 教育研究を支援する施設・設備の整備、TA、RAなどの教育研究支援体制の整備を目指す。 (現状説明) 個人研究室、講義室、演習室、パソコン教室、特殊教室等の教育研究を支援する環境は概ね充実している。しかし、各種委員会における今後の整備に関する検討についてはこれから詳細に行う必要がある。授業補佐、教務補佐等は毎年採用しているが、現在の数が妥当かどうかについても検討を行う必要がある。
☆ その他	

《特定6項目データ》

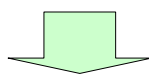
本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【人間福祉学部】		単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	専任教員一人あたりの授業時間数	時間			→	→	→	大学基礎データ表22参照
指標2	教学補佐	人			9	11	10	他に、契約助手2 (2005、2006、2007、2008、 2009、2010年度)
	実験実習指導補佐・ 授業補佐の採用数	人			1	2	2	
	授業補佐	人			0	0	0	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

★	小項目9.0.4	教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、授業補佐は適切に確保されている。
	その他	



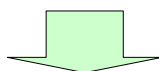
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

★	小項目9.0.4	
	その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

★	小項目9.0.4	教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、授業補佐の必要性（履修者数、授業内容、危険度、学生の要望等の面から）の基準を明確にする。
	その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

★	小項目9.0.4	
	その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★	その他 (自由記述)	
---	---------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価>（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

【学外委員】

○教育研究等環境の整備が着実に進んでいます。教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、授業補佐について、検討がしっかり行われています。

【学内委員】

○小項目9.0.4の現状説明における（方針）が不要です。現状説明に含めてください。
○現状説明などの記述は明確です。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

○小項目9.0.4（現状説明）

★ 堅実な研究に裏付けられた実学の拠点として超少子高齢社会の要請に応えるイノベティブな学部を目指すために、教育研究を支援する環境や条件の整備を目指している。現状は個人研究室、講義室、演習室、パソコン教室、特殊教室等の教育研究を支援する環境は概ね充実している。しかし、各種委員会における今後の整備に関する検討についてはこれから詳細に行う必要がある。授業補佐、教務補佐等は毎年採用しているが、現在の数が妥当かどうかについても検討を行う必要がある。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

9.0.0.S1	個人研究費・研究旅費の額
9.0.0.S2	留学、特別研究期間制度、自由研究期間制度の利用状況
9.0.0.S5	科研費の申請・採択件数
9.0.0.S6	学外からの研究費の総額と一人当たりの額
9.0.0.S11	専任教員の発表論文数
9.0.0.S13	学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文件数
9.0.0.S14	21世紀COEプログラムの採択状況
9.0.0.S15	文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況
9.0.0.S16	特定プロジェクト研究センター制度の活用状況
9.0.0.S18	校地、校舎、講義室・演習室等の面積
9.0.0.S21	教室の種別数と使用率
9.0.0.S22	PC設置台数
9.0.0.S23	研究設備(文科省補助、学院購入)の整備状況
9.0.0.S24	シャトルバスの利用状況

<個別的な指標>
